

渓流から水系まで効率的に 砂防基本計画を策定します



—GIS を活用した砂防基本計画策定システム—

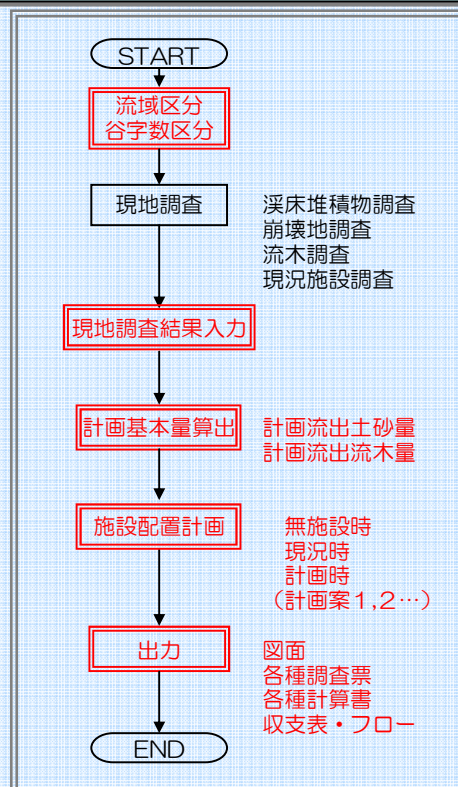
砂防基本計画の策定

砂防基本計画策定システム(FKsabo)は、渓流から水系まで効率的に砂防基本計画を策定します。既存の計画に対しても、データ管理・進捗状況管理としてご利用頂けます。

また、砂防基本計画策定後の事業優先度や計画の見直し等につきましても総合的に検討いたします。

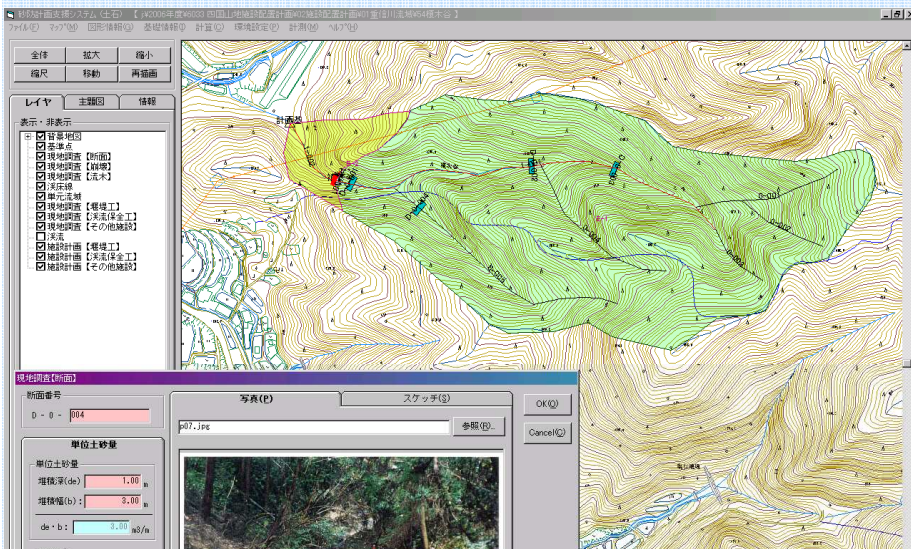
施設配置計画検討

- 施設位置・型式などについて、複数の計画案に対する検討を効率的に行うことができます。
- 土石流対策だけでなく流木対策にも対応したシステムとなっています。
- 単独渓流だけでなく複数渓流の集合体である水系を対象とした水系砂防計画にも対応しています。

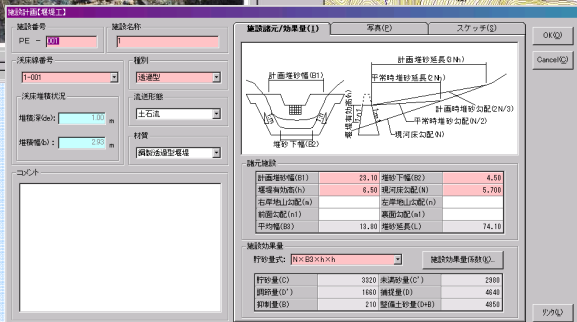


砂防基本計画策定フロー

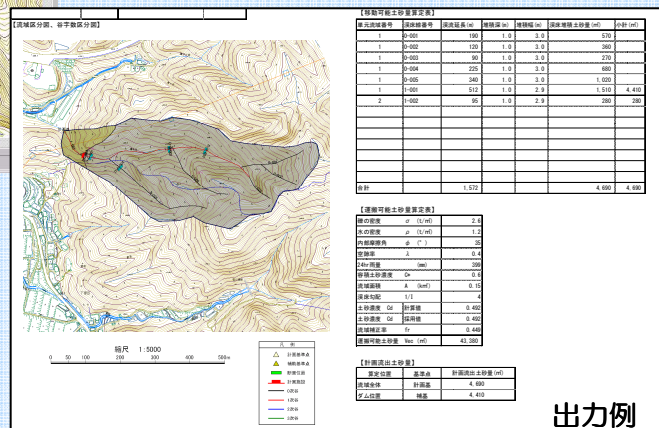
強力な出力機能



現地調査入力画面一例



施設入力画面



出力例

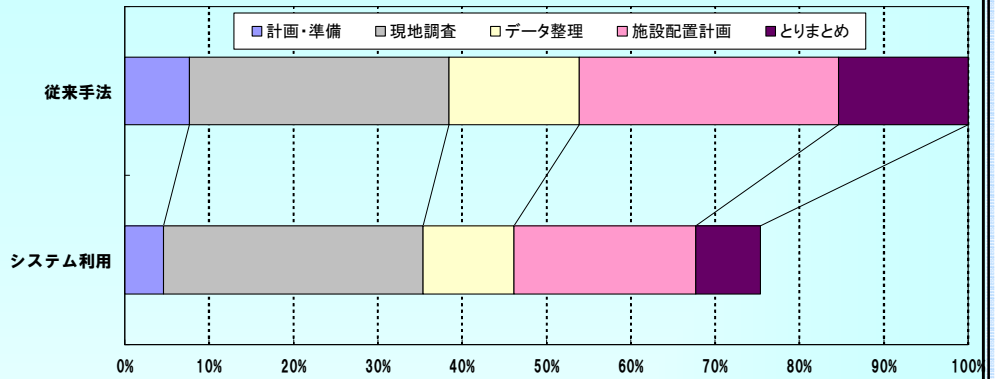
システム使用のメリット

① 工期短縮

現地調査以外の各工程でシステム利用による作業の効率化が図れます。

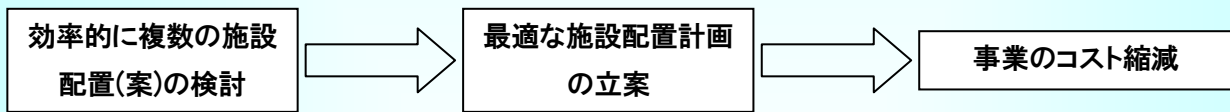
業務の内容にもよりますが、平均的に20~30%の工期短縮が可能です。

特に、大きい流域や複数の施設配置を行う業務では、その差は歴然です。



② コスト縮減

計画作業の効率化だけでなく、最適な施設配置計画（施設数、位置、型式、規模などを複数の代替案で検討）を立案することにより、事業全体のコスト縮減をも可能とします。



③ 維持管理用データとして利用

システムで作成したGISデータを、維持管理用データとして利用することも可能です。GISの特徴として他の様々なデータと重ね合わせ、砂防以外の整備計画にも利用できます。

④ 整備計画策定

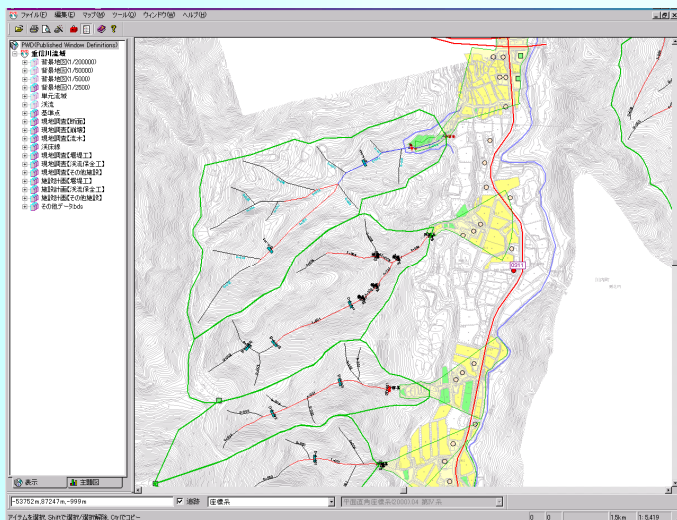
システムを用いて策定した施設配置計画を基に、溪流の荒廃状況、保全対象、周辺への影響、工事費などから総合的な整備計画（対策優先順位）の策定を行います。

★対象とする事業★

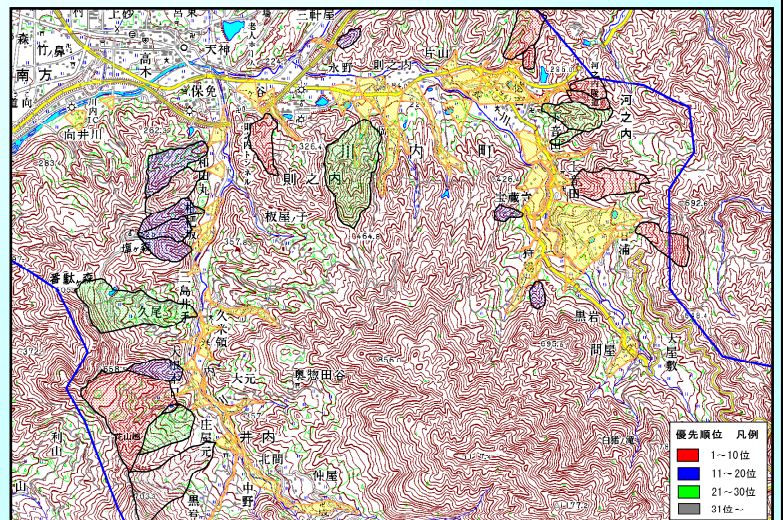
- 流域単位の水系砂防計画業務
- 土石流危険溪流の砂防基本計画業務
- 道路保全対象溪流の整備計画

★業務実績★

- システム納品（H18 国交省四国地方整備局四国山地砂防事務所）
- システム利用（複数実績あり 砂防基本計画業務）



維持管理用データ（フリービューで閲覧可能）



優先順位検討結果